



# 立教大学 ESD研究所

Research Center for Education for Sustainable Development, Rikkyo University

## ■活動目的■

ESD (Education for Sustainable Development: 持続可能な開発のための教育) の研究および実践を行い、様々な社会問題 (環境問題・人権問題・平和問題・貧困問題など) の解決に取り組み、持続可能な社会の構築に貢献する。

## ■研究所の視座■

地域や社会、文化には、様々な価値観や多様性があることを人々に認知してもらい、それを受け入れてもらうためのESDを確立する。人文科学、社会科学、自然科学など、各研究分野の成果を積極的かつ柔軟に取り入れ、ESDを有効に機能させる。

- ・ 社会の諸問題を包括しうる理論の創出
- ・ 理論に基づいたプログラム・教材の開発
- ・ 実践活動によるESDの普及、理論の精査

## ■研究プロジェクト■

- ・ 生物多様性におけるESD
- ・ 地域におけるESDの導入
- ・ HESD研究ならびに学内におけるESDの推進
- ・ DESDの推進に向けた活動
- ・ 福島第一原発事故に対応したESDプログラムの開発

## これまでのおもな活動と成果

2007年、日本初のESD研究機関として「立教大学ESD研究センター」が設立され、文部科学省オープン・リサーチ・センター事業に選定。2012年3月、同事業による活動を終え、同年4月より「立教大学ESD研究所」と名称を変更、恒常的な大学附置研究所として活動を進めている。

●10カ国以上におよぶ、サステイナビリティに取り組む大学による国際ネットワークを形成。

●アジア・太平洋地域の主要機関を招いた国際シンポジウムを開催。ESDの成果と課題を共有し、連携体制を構築。

●「地元学」「ESD拠点としての自然学校」などを事例にESDネットワークを構築、本研究所はハブとして機能。

●ESDやサステイナビリティの考えを広く一般に普及する活動「Eco Opera」を展開。

●ESDの国際研究誌『J. of HESD』アジア特集号の刊行 (各国の研究者を組織し、本研究所が編集)。

●段階的 (導入・理論・実践) にESDを学べる講座を、立教大学全学共通カリキュラム、異文化コミュニケーション研究科内に開設。

●ESD関連書籍の刊行～『アジア・太平洋地域のESD』『次世代CSRとESD』他。

●東日本大震災に対応し、講演会、シンポジウム、ESDプログラムの開発を実施。

●高等教育機関のネットワーク「HESDフォーラム」の設立。

●ESDに関心の高いステークホルダー (教育機関、民間団体、地域住民など) と連携し、ワークショップの手法などを開発。



●ユネスコが、本研究所の活動 (指導者養成、教材開発など) を「グッド・プラクティス」として紹介。

- ・ 大学の社会的責任 (USR) の一つとしてESDを導入する社会的潮流を生み出す。
- ・ 国内外の研究教育機関、国際・地域・国家・地方機関、企業・NGO・NPOなどとの連携・協働を生み出し、本研究所のプロジェクトが追求してきた産公学連携による高度職業人養成に繋げる。
- ・ 国内外でのワークショップの実施によりESDの重要性と導入意義を高め、社会的認知促進に大きく貢献。

## 2014年のおもな活動と成果

### ●国連ESDの10年への取り組み

「国連ESDの10年 (DESD)」の最終年にあたり、持続可能な社会や未来のありかたについて考える場として講演会やシンポジウムを開催。学内外を問わず、さらなるESDの普及につながる活動を進めた。

- ＜おもな講演会＞
- 「さかなクンがみたESD — 『国連ESDの10年』最終年を迎えて—」
- 「被災地に何をみるのか — 福島県浜通りの『観光』と『生活 (ライフ)』—」
- 「蝶から見た人と自然との付き合い — 都市における生物多様性の恵みを考える—」
- 公開シンポジウム「持続可能な社会作りに向けた国際ボランティアの可能性」



### ●池袋学

立教大学と東京芸術劇場による連携講座「池袋学」を2014年度より開講。池袋に住む人、池袋で働く人、学ぶ人、遊ぶ人—さまざまな人々とともに、池袋の歴史・文化・暮らしなど多様な視点から、これからの池袋を考え、独自の「池袋文化」の発信をめざす。



- ＜おもな講演会＞
- 「池袋モンパルナスの時代～アートの街としての池袋～」
- 「トキワ荘の時代～『漫画』から『マンガ』へ～」
- 「池袋のセゾン文化～文化戦略から演劇祭まで～」
- 「池袋学と自由の発信 — 池袋周辺地域の文化土壌 —」
- 「都市観光地としての池袋」
- 「持続可能な未来を指向した池袋学をめざして」

### ●としまちプロジェクト

豊島区池袋西口地区の町会、商店会、NPO、企業、大学、自治体など、マルチステークホルダーがネットワークを構築し、運営協議会を設立。豊島区に暮らす人々が、プロジェクトの活動 (「風土かふえ」等まちづくりイベント、まちづくり活動を担う人材育成) を通じて、住民間のつながりを深め、持続可能な地域社会のまちづくりを進めることを目指す。

